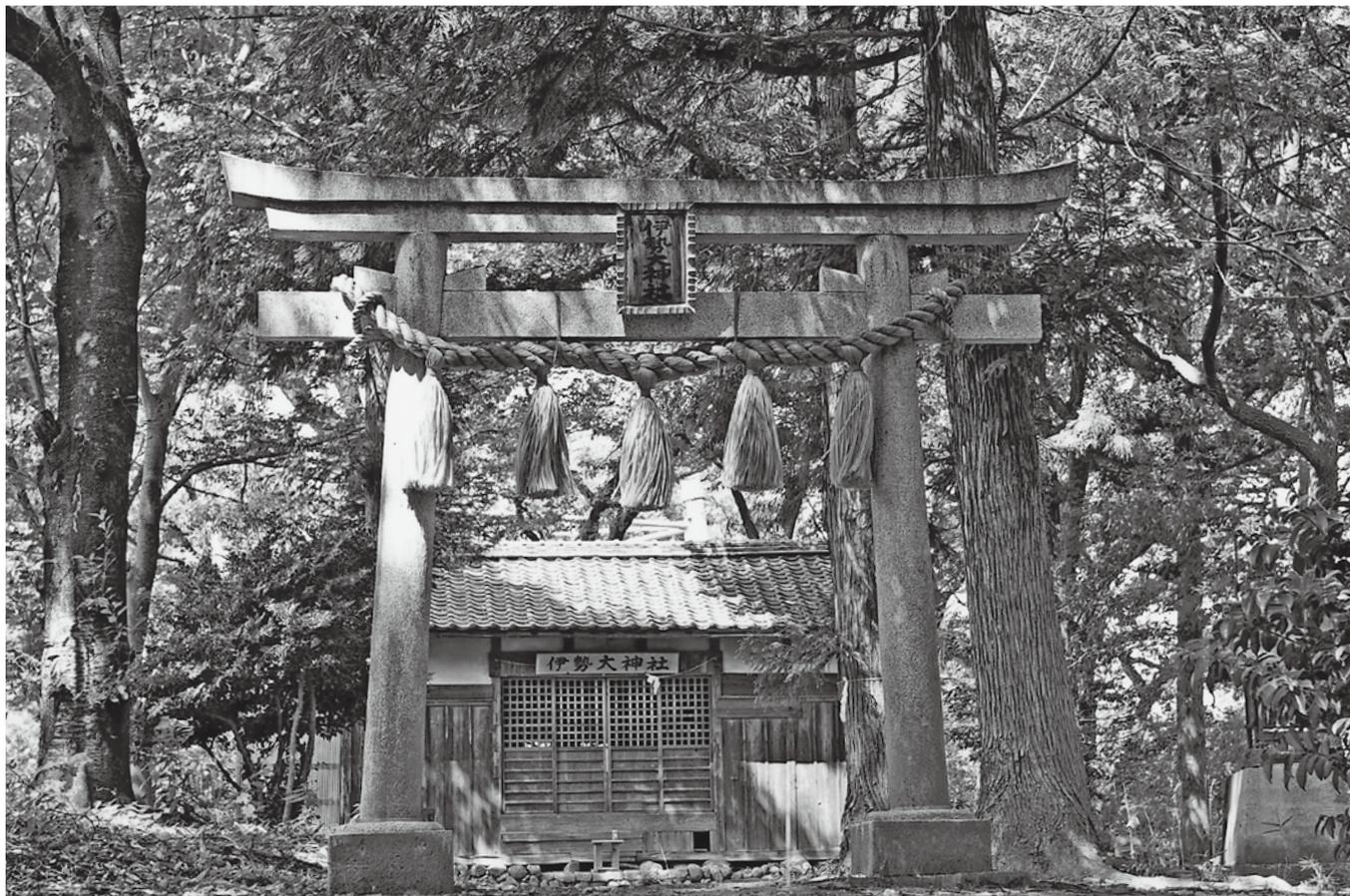


この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

かみかわ町議会だより



「坂道を登ると社あり。地区の平穏と五穀豊穡を願う。」 二ノ宮 伊勢大神社
(撮影者「フォーカス友の会」小笠原智宏さん)

- 平成25年度神川町一般会計補正予算(第2号)などの補正予算を可決
- 神川町町民の歯科口腔保健の推進に関する条例を可決
- 神川町長等及び職員の給与の減額に関する条例を可決
- 副町長の選任の同意
- 「岸優議員ご逝去」心より哀悼の意を表します。

第 **31** 号
平成25年9月1日発行

議会を傍聴しませんか

第5回定例会は9月3日(火) [午前9時~] 一般質問から13日(金)を予定しています。

編集 神川町議会運営委員会
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
☎0495(77)0707 <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

定例会のあらし

平成25年第4回神川町議会定例会は6月5日から13日までの9日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成25年度神川町一般会計補正予算（第2号）ほか7議案、3件の報告及び請願2件、陳情5件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、6月5日に行われ、5名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。概要は、次のとおりです。



廣川 学 議員

神川町の人口増加策について

町の人口増加策について、今年度または昨年度に実施した（予定の）新たな制度あるいは政策があるのか。また、あるならば、その成果や意図をお聞きたい。

結婚相談について、多くの職員から提案をもらい、イベントなどを開催し、盛り上げていくことが大事だと思いますが、その取り組みと成果について伺います。

未来の神川町について、これから予定している政策はあるのか。昨年は行政の接遇を上げる、よくすることを提案したが、それはどうなっているのか。周辺地域で人口の流入が見込める企業、あるいは施設ができることで、そこで働く人々が住む場所を選ぶという、神川町からすると大チャンスがあります。そこで何もしなければ、神川町を選んでくれるとは思えません。「住みたくなる、魅力ある町づくり」についてどのように考えているのか伺います。

答え 町長

人口増加策ですが、町では勤労者住宅資金の貸し付けや子ども医療費の無料化のほか、平成24年4

月から奨学金返済完納者に対する人材定住報奨金の交付を行っています。また、今年度から新たに、町営中居住宅の中学生以下の子供がいる世帯への家賃割引が1万円だったものを、子供の数に応じて最高2万円まで拡大したほか、小

学校から高校までで3人以上児童生徒がいる家庭については、第3子以降の給食費を無料にするなど、子育て支援策の充実を図っています。

工場誘致等による働く場の確保や住宅用地の造成等についても推進したいと考えていますが、町の大部分が多くの優良農地を含む農業振興地域に指定されており、国の食料自給率確保対策により、新たな工場、住宅等の用地を確保するための農用地除外等が難しい状況です。町としましては、引き続き県の協力をいただきながら、農業振興地域の見直し等も含め、工場誘致や住宅用地の確保に努めます。

未来の神川町については、子育て支援策の充実や働く場の確保等について、これからも引き続き推進します。

高齢者対策として、今年度高齢者の見守りシステムを導入し、高齢者の安否確認と本人と家族等が安心して生活できる環境を整備するほか、神泉地区において、高齢者のデマンドタクシーによる買い物支援事業と訪問相談事業等を計画しています。

結婚相談については、昨年10月に、本庄・上里・神川町社会福祉協議会合同による婚活ボーリング

パーティーを行い、男性20名、女性18名、合計38名参加のもと、神川町1名を含む4組のカップルが誕生しました。ことし2月の婚活バレンタインパーティーでは、男女各12名参加のもと、神川町1名を含む5組のカップルが誕生し、成果を上げました。

今年度は、6月に「幸せな結婚に一步近づくためのセミナー」を開催し、その後、婚活パーティーを、また、秋にも婚活イベントを予定しています。



今年度新設の二課について

町の職員数はふえてない中で課をふやした理由及び2課の目的について伺います。防災環境課は、2年前の震災から高まる防災意識の中、災害が起きてしまったときに町民を守るために、さらに準備をするためのものなのか、経済観光課は、町として観光に力を入れるという意思表示と捉えてよいのか、また観光は、何を目玉にするのかなど、具体的にお願いします。

答え 町長

平成25年度は、新たに防災環境課を設置、「経済環境課」を「経済観光課」に変更しました。防災環境課は、東日本大震災の被害による防災意識の高まりの中で、町として防災事業の重要性を改めて認識し、総務課の地域安全室で行っていた防災業務を独立した課で行うことといたしました。また、あ

わせて、経済環境課で担当していた地球温暖化や公害の防止、廃棄物やごみ処理等の環境衛生部門と建設課が担当していた交通安全業務を所管することで、神川町の自然と人及び財産を守ることを任務として設置した課です。経済観光課につきましては、主要産業であ

る農業、商工業に加え、豊かな自然と文化財等を生かした観光事業を積極的に推進するため、町の産業全体の活性化を担う課として名称を変更しました。今回の組織改革は、防災事業の充実による町民の安心と、産業振興の推進による豊かなまちづくりを目指して行いました。

町で取り組んでいる観光事業は、ツツジや冬桜を中心とした城峯公園のPRや冬桜の宿の指定管理者であるJT Bとの連携のほか、近隣市町と連携した観光案内板の設置や観光パンフレットを作成し、誘客に努めています。また、ことし2月には、JAF埼玉支部と包括協定を締結し、約385万部発行の月刊誌で関東版会報誌を使いJAF会員へ情報発信を行ってい

ます。

民間事業者による梨シャトーベットの開発も行われ、町もイベント時でのPR等で協力をしています。今後につきましては、観光協会等の団体や住民の方々の取り組みへの支援、神川町のマスコットキャラクターを用いたグッズ等の開発支援や神川ブランドの開発への支援等を積極的に行っていきます。

また、ダム湖周辺のイメージアップを図るために、隣の藤岡市とも共同しイベント等を企画し、実行に移します。



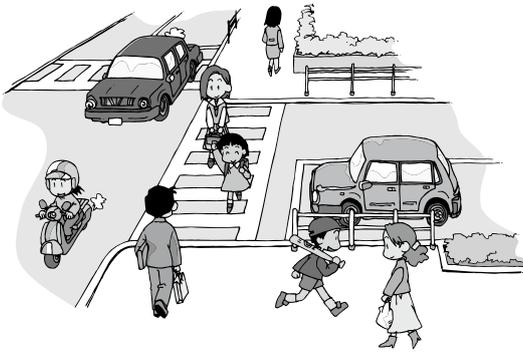
城峯公園管理センター



落合周一 議員

通学路の安全対策について

丹荘小学校に通学する児童たちは、植竹方面、元阿保方面からは整備された県道の歩道を使って、また、八日市方面からの児童たちも歩道を通って登校しています。しかし、関口、元阿保の一部の児童、四軒在家の児童たちは、岡泉商店から大久保理容室の前を通り、元阿保へ抜ける通学路を使って、また肥土方面の児童たちも、海洋センターから歩道のない通学路を通して学校に通っています。特に関口地内と元阿保地内を通る通学路は、道幅も狭く、途中にはカーブもあり、最も危険な通学路の一つです。



マスコットキャラクターの活用については、現在の画一化された注意看板よりも、身近なマスコットキャラクターを活用した交通事故防止看板を児童生徒の通学路に

答え 町長

また、このほか、肥土方面からの通学路、八日市の旧国道、あるいは青柳小学校の通学路、特に新里、前組方面からの通学路の安全対策をどのように考えているのか、お伺いします。そして、次に、交通安全の対策として、町のマスコットキャラクター「神じい」と「なっちゃん」の活用を提言します。「なっちゃん」をデザイン化し、交通安全を呼びかける看板として通学路に設置し、交通安全の啓蒙と通学路の安全対策の象徴として活躍してもらいたいと思います。町長と教育長の考えについて伺います。

なっている危険交差点や横断歩道等に設置することで、ドライバーに子供や高齢者による飛び出し注意を訴え、また子供や高齢者の方にも飛び出しには注意しなければという気持ちを持たせる効果はあるものと思います。今後は、警察や関係部署と協議し、設置につきまして前向きに検討します。

答え 教育長

毎年通学路については、児童生徒の就学状況により若干路線が変わることから、各小中学校では、年度当初に教職員、PTA役員、保護者、スクールガードリーダーにより通学路を実際に歩き、危険箇所の状況把握及び点検を実施しています。今後の方針については、点検結果をもとに、防災環境課、

建設課、学務課との連携を密にし、児玉警察署の指導をいただき、整備手法の検討を行います。
元阿保から四軒に通じる町道につきましては、5月15日から3日間、PTA、スクールガードリーダー、教育委員会合同で児童の登校時間に合わせ、通行車両に危険回避のための回り道や低速走行のお願いをしました。その結果15日



下校のようす（新里地内）

42台通過に対し、2日目12台、3日目15台でした。これからも、これらの取り組みを行うことにより、数を減らし、理解を得ることができると思っています。
今後は、これまで以上に各学校管内の通学路の安全点検を実施し、優先順位をつけ整備を行い、国あるいは県等にも整備について働きかけます。



赤羽 奈保子 議員

介護支援ボランティアについて

介護支援ボランティアは、その活動実績に応じてポイントを交付、ポイントは介護保険料や介護サービス利用料に充てることができ、実質的な保険料の負担軽減にもつながります。それだけでなく、高齢者が活動を通じて社会参加、地域貢献ができ、ご自身の健康増進にもつながり、介護予防にも役立ちます。60を超える市町村で実施または予定していて、介護予防にも役立ちます。60を超える市町村で実施または予定しています。この制度を導入することで高齢者の方のボランティア活動への啓発、ボランティアをしたいけれども、参加の仕方がわからないというような方々にボランティア活動への参加を促すこともできます。介護予防策として介護支援ボランティア導入の考えがあるかどうか、町の考えを伺います。

答え 町長

町におけるボランティアの状況は、介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援を目的に、いきいきサポーター事業として介護保

険の地域支援事業に位置づけ、平成19年2月にスタートしました。現在40名の方が登録し、体操教室や男性のための料理教室などで活動しています。こうした状況を踏まえ、現行制度の見直し、あるいは介護支援ボランティア制度の導

入について、高齢者の介護予防の
推進や地域貢献の観点から、関係

機関と連携を図り、調査、研究し
てまいります。



男性料理教室



岸 優 議員

国や町の財政と町民のくらしを破壊する
「TPP交渉」参加に反対するいっしょ

3月15日に、安倍首相は、環太平洋連携協定（TPP）に日本が交
渉参加することを正式に表明しました。

政府が公表したTPP交渉参加による経済効果の試算では、工業製
品などの輸出がふえて国内総生産を押し上げるが、国内の農業生産額

は現在の8兆円から3兆円に減ると試算し、農業に大きな打撃を与え、
食料自給率が農水省の試算でも現在の39%から13%にまで激減するこ
とが明らかになっています。他の研究機関の試算では、TPPによる
影響は全産業で10兆5千億円になり、190万人の雇用が失われると
発表しました。町の農業は、壊滅的な打撃を受けることは明らかであ
ります。全国町村会は、交渉参加の正式発表は農林水産業だけでなく
地域経済、社会の崩壊を招く。TPP参加には絶対反対と主張してい
ます。

町長は、TPP交渉参加に明確に反対し、町の経済と農業、町民の
生活と暮らしを守るために、近隣の自治体をはじめ関係各団体などと
協力し、積極的に行動する考えがあるか伺います。



田園風景

答 え 町長

町では町村会と同様に、TPP

交渉に参加することは、関税のみ
ならず基幹税障壁を原則撤廃する
ことになり、農業の衰退や公的医
療保険への影響も懸念され、まさ
に国民生活の根幹にかかわって
くる大きな問題であると認識し、先
行きを危惧しています。

町としては、足元に目を向
け、特に農業分野では、国の成長
戦略に期待を寄せるだけでなく、
新規就農対策や中心経営体の拡大
対策が図れるよう、今年度につ
きましては、これらの対策の条件と
なる「人・農地プラン」の完成を
目指し、町の農業振興の体制整備
を行うとともに、今年度から町独
自の認定農業者への農業振興補助
金、特産品振興補助金などを活用
し、地域産業の活性化を図ります。

就学援助制度の拡充について

※就学援助制度の給付内容や認定基準などが、全ての保護者に知らされていくのでしょうか。

就学援助制度の申請は、校長や民生委員を経由して申請書を提出させ、そして、所見等必要事項を記入することになっています。申請様式を見直し、学校長や民生委員の署名はやめて、申請しやすくすることが重要だと思います。前の議会で検討するとの答弁でしたが、その結果をお伺いします。

また、給付内容は、国庫補助項目に2010年から、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が就学援助費に追加されましたが、町の考えを伺います。

※「就学援助制度」とは経済的に困っている家庭に、子どもの就学費用を援助するものです。

答え 教育長

※準要保護世帯へのクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を支給対象としているのは、現在埼玉県内63市町村のうち6市町、10%です。現時点において、支給対象とすることは検討しておりません。町内の6小中学校における生徒会費、PTA会費については、それぞれ

の学校で保護者より徴収していますが、クラブ活動費として学校は保護者から徴収はしていません。神川中学校では、保護者会ごとにクラブ活動費として、徴収している部があると聞いています。また、神泉中学校では、クラブ活動費は徴収していません。このような現状から、準要保護世帯へのクラブ活動費については、支給対象とすることは難しいと考えます。また、準要保護世帯への

生徒会費及びPTA会費を支給対象とすることについては、県内及び児玉郡市の動向を見きわめ、平成26年度予算編成に向けて、支給対象とすべきかについて、さらに検討を進めます。

申請様式の見直しについて、現在申請様式は、児童扶養手当世帯及び生活保護世帯と低所得者世帯の2種類があります。児童扶養手当世帯及び生活保護世帯は、申請書に受給者証の写しを添付するのみで、民生委員と学校長の所見は必要ありません。これは、全体の71%に当たります。また、低所得者世帯の申請書は、民生委員と学校長の所見が必要で、これは、受給者全体の29%です。民生委員は、いつも地域等を見守り、家庭の状況などをできる限り把握して、住民の相談役や助言をする役割もあります。また、学校と家庭が一体となり、いつでも学校は家庭状況等を知っておくべきです。

このような現状から、申請様式に民生委員及び学校長の所見は必要であります。

答え 学務課長

制度の周知ですが、1月に小中学校に入学する子どもの保護者に対して、入学通知と一緒に就学援助に関する資料を郵送します。広報1月号には就学援助制度のお知らせを掲載します。また、年間を通して、学校の事務職員が中心となり、各家庭の状況把握を行い、学校側から説明をし、申請を上げていくケースもあります。

※「準要保護世帯」とは就学援助費の対象となっている世帯をいいます。



みどりの埼玉づくり
県民提案補助事業について

本事業は、町から補助金などを受けていないボランティア団体が事業を提案し、県に申請し、補助金を受け事業を実施するものです。町では、神川山歩きの会、神川ウォーキングクラブ、自然に親しむ会の3団体が事業主体となり、御嶽山ハイキングコースを整備実施したと聞きました。町の経済観光課に事業内容を伺いましたところ、担当のほうではわからないとのことでした。その後調べましたら、県補助金は50万円で、ハイキングコース道の整備や草刈り機、案内用看板などに使われたようです。また、参加した会員にも補助金や事業内容が知らされていないという苦情も出ています。本事業には町長が深くかわっているようですので、この補助事業内容と事務局の所在地、責任者等について、詳しく説明をしてください。

答え 町長

平成24年度に神川山歩きの会が今回の事業を申請し、採択となりました。この事業は、民間企業、住民団体などが、町を通さず直接県に事業申請するもので、今回の事業は、ハイキング道の3つのルート整備を中心に、植栽や看板の

設置のほか、パンフレットも作成しました。また、作業のための草刈り機等の購入を含め、事業費は県から総額50万円の補助金をいただき、整備を実施しました。作業には、神川ウォーキングクラブ、神川自然に親しむ会にも協力をお願いしました。

事務局は、神川山歩きの会員の私が事務局を務め、責任者は、会長となっております。



御嶽山ハイキングコース



大川 喜和子議員

オートキャンプ場について

ゆくゆくランド内にある町民がオートキャンプ場と認識しているところは、本来自由広場ですが、土曜日から日曜日にかけて、また、夏休みに入ると、多くのキャンピングカーがオートキャンプ場として自由に使用しています。町民の多くが利用しているのであれば無料も考

えられますが、利用しているのは100%町外の方と言っても過言ではないと思います。全国各地にオートキャンプ場は数多くありますが、有料のところが多いです。また、自治体が指定管理者制度を取り入れて有料にしているところもあります。今までもおり無料のままにしておくのか、または将来的に有料化する考えがあるのか伺います。

答え 町長

ゆ〜ゆ〜ランドは、神流川区域内に位置するため、河川を管理する国土交通省の占用許可を得て、平成13年より総合公園として管理を行っています。この公園のうち、ご質問にありましたキャンプ場と言われている場所は、自由広場として整備したものです。自由広場は、公園を訪れた方が活動や休憩など自由に使用できる施設ですが、週末になるとキャンピングカーなどで訪れ、滞在する方もいます。このため、この自由広場をキャンプ場と勘違いされている方もいると思います。これまでの議会の中で、この自由広場や水道の使用状況などから、受益者負担の関係で料金を徴収すべきとのご意見を賜り、料金の徴収方法やそれに伴う

経費についての検討や占用許可者である国土交通省と打ち合わせを進めているところでです。



ゆ〜ゆ〜ランド自由広場

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することができます。また、町ホームページでも閲覧できます。

議案審議の結果

六月定例会は、平成二十五年年度神川町一般会計補正予算や条例改正、請願、陳情などが審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

人事関係

◎副町長に島田邦弘氏を同意
地方自治法第一六二条に基づき町長から同意案が提出され、賛成多数で同意されました。
上里町大字神保原町
一四〇七番地四

条例関係

◎神川町町民の歯科口腔保健の推進に関する条例
町民の歯科口腔保健を総合的に

推進するため、制定するものです。
〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎神川町介護保険条例の一部を改正する条例
地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い所要の改正をおこなうものです。
〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎神川町町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与削減措置を踏まえ、神川町長、副町長及び教育長の給与の減額措置を講ずるため、所要の改正をおこなうものです。
〈審議結果〉 賛成多数 原案可決

◎神川町職員の給与に関する条例の臨時特例に関する条例
国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与削減措置を踏まえ、神川町職員の給与の削減措置を講ずるため、所要の改正をおこなうものです。
〈審議結果〉 賛成多数 原案可決

予算関係

◎平成二十五年神川町一般会計
補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれ一、九八四万七千円を追加し、総額を五億三、〇八四万七千円とするものです。

◎歳入に追加された項目

国庫支出金 一三六万五千元
県支出金 七三四万五千元
繰入金 八七三万七千元
諸収入 二四〇万円

◎歳出に追加された主な項目

〈総務費〉 八五七万二千元
〈民生費〉 一〇万六千元
〈衛生費〉 一一三万円
〈教育費〉 一、〇〇三万九千元
〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

◎平成二十五年神川町介護保険
特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ八五万を追加し、総額を九億六〇七万九千円とするものです。

◎歳入に追加された項目

国庫支出金 二二万円
支払基金交付金 二四万六千元

県支出金 一〇万六千元
繰入金 二七万八千元
◎歳出に追加された主な項目
〈保険給付費〉 八五万円
〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

契約関係

◎建設工事請負契約の締結について

契約の目的 神川中学校特別教室棟建築工事
契約方法 一般競争入札
契約金額 五億八二七五万円
契約の相手方
所在地 神川町大字元阿保二
三九一

氏名又は名称 塚本建設(株) 玉営業所
代表者職氏名 玉営業所
営業所長 菊地 至

報告など

◎平成二十四年度神川町一般会計
継続費繰越計算書について

翌年度繰越額

五億二、二〇四万六千元

◎平成二十四年度神川町一般会計繰越明許費繰越計算書について

翌年度繰越額

五、八四一万五千元

◎平成二十四年度神川町観光事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

翌年度繰越額

二、七二七万一千円

請願

◎総務経済常任委員会

件名 排水路の整備について

要旨 植竹第二区内の住宅密集地における排水路整備のお願い

請願者 植竹本区長 内海 孝

植竹第二区長 星野 勇

紹介議員 田村 勝議員

〈審議結果〉 採 択

陳情

◎総務経済常任委員会

件名 下阿久原地内町道の舗装について

要旨 町道2-21号線の舗装改良のお願い

陳情者 下阿久原区長 中島 正

〈審議結果〉 採 択

件名 熊野堂地内町道の舗装について

件名 排水路の騒音消去対策整備について

要旨 植竹第三区内(丹荘駅南側)の排水路は車が通るたびに騒音がするため、騒音消去対策のお願い

請願者 植竹本区長 内海 孝

植竹第三区長 岩崎英夫

紹介議員 田村 勝議員

〈審議結果〉 採 択

要旨 町道2120号線の全面舗装のお願い

陳情者 熊野堂区長 江川 進

〈審議結果〉 採 択

件名 熊野堂地内町道の排水溝と舗装について

要旨 町道2228号線の排水溝と全面舗装のお願い

陳情者 熊野堂区長 江川 進

〈審議結果〉 採 択

件名 熊野堂地内町道の排水溝と舗装について

要旨 町道2242号線の排水溝と全面舗装のお願い

陳情者 熊野堂区長 江川 進

〈審議結果〉 採 択

件名 中新里地内の側溝整備について

要旨 中新里地内591番地7及び594番地先の側溝整備のお願い

陳情者 中新里区長 早野敏一

〈審議結果〉 採 択



委員会研修

去る6月7日に、総務経済常任委員及び地域総務課職員等計10名により、今年度、神川町で試行運用予定の※「デマンドタクシー」について参考とするため、寄居町で行っている「デマンドタクシー」の視察研修を受けました。寄居町では平成23年12月に協議会を発足して準備を進め、平成24年11月から試行、今年度より本格スタートしています。寄居町ではタクシー会社3社に事業を委託し、乗降場所は約300箇所、1日の平均利用者数は35人となっています。 ※「デマンドタクシー」とは利用者の要求に応じて、他の人も乗りあつて目的地に送迎するサービスをいいます。



寄居町視察

岸優議員 逝去



岸優議員に

心より哀悼の意を

表します

岸様は、平成25年6月5日開催の定例会一般質問中に体調をくずされ、緊急入院し、懸命な治療を受けましたが、去る6月28日に急逝されました。あまりにも突然の不幸に議員一同万感胸に迫る思いです。岸様は、昭和44年から12期41年にわたり神川町議会議員として、卓越した識見と実行力をもって町民の声を町に届けてきました。昭和52年から14年間にわたり、文教厚生

常任委員長として町の教育、保健、福祉、医療、介護などの分野で指導力を遺憾なく発揮されてこられました。持ち前の「実直さ」と「行動力」で町民の幸せを願い、とことん質問をしてこられた姿を忘れることができません。

ご功績が認められ平成19年には「全国町村議会議長会総務大臣表彰」を受賞されるなど、数々の表彰を受けられました。町にとって貴重な存在であった岸様を失うことは残念でなりません。

今後は、岸様と志を同じくする私たちは、町の発展を願い、岸様が築きあげた実績を活かし、さらに精進することをお誓いいたします。

岸様を偲び、謹んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

神川町議会議員一同

児玉郡町議会議員前期研修会開かれる



前期研修会

去る6月27日に、本庄市にて50名の議員、来賓が集まり、児玉郡町議会議員前期研修会が開かれました。児玉郡町議会議長会主催により、はじめに自治功労者4名が表彰され、神川町では、前議長の主山義雄氏と前副議長の山田義雄氏が受賞されました。また、講演会では「議会人の危機管理」のテーマで、講師は市町村アカデミー客員教授の大塚康男氏から講演をうけました。議会人として「議会での発言」や「視察のあり方」、「兼業の禁止」などを中心に研修を受けました。

議会日誌

4月



- 1日 全員協議会 教職員人事異動
辞令交付式
- 3日 かなな福祉専門学校入学式
- 5日 丹荘保育所・青柳保育所入園式
- 8日 神泉小・渡瀬小・青柳小・丹荘小・神泉中・神川中入学式
- 9日 神川幼稚園入園式
- 12日 食生活改善推進員会総会
- 14日 神川町更生保護女性会総会
- 18日 横浜本牧観光協会交流会
- 24日 区長会
- 26日 母子愛育会総会
- 30日 神川町観光協会総会
臨時議会

5月



- 11日 上武中学校野球大会
- 13日 遺族会総会
- 15日 郡議長会総会
- 16日 臨時全員協議会
商工会青年部総会

6月



- 1日 神川中学校体育祭
- 5日 旧吉見町長を偲ぶ会
- 7日 第4回定例議会（一般質問）
- 13日 総務経済常任委員会
第4回定例議会（補正予算等
質疑採決）
- 14日 神泉中学校校舎等利用検討委員会
- 21日 旧議員倶楽部総会
- 22日 こだま青年会議所記念式典
- 26日 シルバー人材センター総会
- 27日 国道462号線整備促進期成同盟会総会
- 28日 郡議長会前期研修
- 31日 広域圏定例議会
- 17日 本庄地方防犯協会、暴力排除
推進協議会総会
- 20日 文化協会総会
- 22日 商工会女性部総会
- 24日 本庄法人会神川支部総会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 商工会総会
- 30日 神流湖整備協会評議員会
- 31日 社会福祉協議会理事会
- 28日 県議長会臨時総会
- 30日 旧議員倶楽部役員会
- 31日 梨出荷組合総会
- 31日 国道462号線整備促進期成同盟会
定例全員協議会

表紙の 写真について

フォーカス友の会の皆様のご協力により、平成18年より、「町内の神社」を掲載してきましたが、今月号で終了となります。（長い間ありがとうございました。今後の題材につきましても、委員会等で検討します。町民の皆様にご覧いただける広報紙をめざしています。皆様から何かご意見等がございましたら、遠慮なく議会事務局にご連絡ください。

議会だより掲載 記事の訂正と お詫び

平成25年6月1日発行「議会だより第30号」8ページに掲載しました人事関係「教育委員会委員に竹内守氏を同意」の記事中、住所欄に渡瀬の字名が抜けておりました。お詫びして訂正させていただきます。